

視 点

保険料率引下げなどできるのか？

今年の骨太方針では、財政運営の目標は、今までの「プライマリーバランスの回復」から「債務残高対GDP比の安定的低下」に切り替え、「責任ある積極財政」を打ち出した。

しかし、これで社会保障費について予算枠が増えるのかは不透明だ。というのは、今年の骨太では、社会保障費については、「現役世代の保険料率の上昇を止め、引き下げていく方針」が掲げられたからだ。今までのように、社会保障費の伸びは「高齢化による増加分に相当する伸び」で頭を打つというわけではない。しかし、保険料率を

下げていくためには、社会保障費を削減しなければならない。

つまり、医療や介護の利用者負担増、年金の伸びの抑制、医療費や介護費のカットなどが必要になる。いずれも難しく、実現できるとは思えない。

一方で、今年の骨太方針では、診療報酬については、経済・物価動向に並び、必要な調整を行う、介護報酬でも、物価変動への対応や処遇改善を行うとなっている。このような改善を実現しつつ、保険料率を下げるというのは、矛盾している。

しかも、高市政権では、来年4月から食料品の消費税率を実質ゼロにするとの約束している。周知のとおり、消費税は社会保障費に充てられている。減税分の5兆円の穴が開く勘定だ。本来、保険料率を下げるのであれば、その下げた分は公費で穴埋めしなければならないが、消費税の減税は真逆の対応である。

今までと違って、インフレ経済になるのだから、税収が増えてその分は何かになるとでもいうのだろうか？「責任ある積極財政」ではなく、放漫財政になって、インフレ、円安、物価高の悪循環に陥らないか心配だ。

社会保険旬報 目次

No.3006 2026年7月21日

座標

専門医機構新理事長に今野弘之氏就任
病院団体が建築費高騰への支援を要望 …… 4
外科医療確保特別加算の6月算定は19病院
病院経営調査で9月に医業収益回復見通し …… 5

動向

2040年を見据えた地域医療構想
策定ガイドラインを厚労省が公表 …… 6

論評

地域医療構想策定ガイドラインについての
検証レポート
～本ガイドラインにおける実質的な不足・
未決定の10ポイントと民間病院からの提言～
津留 英智 …… 10

論評

新たな地域医療構想をどう考えるのか④
大都市部の検討事項
一福岡糸島医療圏を例として (2)
松田 晋哉 …… 14

随想一視診・聴診

集まらない
高山 哲夫 …… 23

論評

医療情報基盤としての電子カルテの今後(2)
生成AI時代の病院サイバー対策 (上)
一攻撃者の探索能力は何を変えするのか
高橋 泰 …… 24

潮流

自民党と維新の会が社会保障項目で合意 …… 30
協会けんぽが2025年度決算を発表 …… 32
地包ケア協会で田中滋氏が特別講演 …… 34
日本版キャンサードラッグファンドを提案 …… 35
中医協が中間年改定に向けて議論開始 …… 36

全世代型社会保障への道筋②④

負担率の累進性強化に向けて
山崎 泰彦 …… 37

NEWS

国保中央会大西会長、原理事長
臨時総会で再任 等 …… 38

経済スコープ …… 41

編集室・ワードカプセル …… 42